

一宮西病院 脳卒中センター

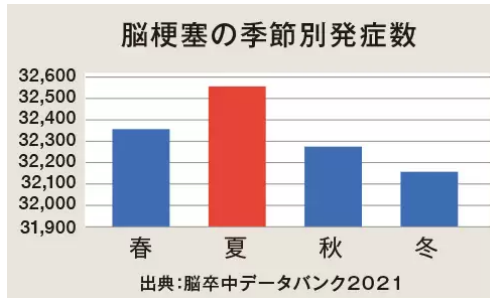
その症状!! 熱中症ではなく
もしかしたら脳卒中かも!?



意外に多い 夏の脳卒中にご用心!

夏こそ脳梗塞に要注意

脳卒中といえば、寒い冬の時期に起きやすい病気と考えられがちですが、高温多湿な夏の気候も冬の寒冷とは別の危険要素です。炎天下での作業中や熱帯夜の時間帯では気づかないうちに脱水傾向に陥りやすく、血管が虚脱したり、血液の粘性が高まることで脳血管が詰まってしまう脳梗塞になるケースもあります。**夏期に注意が必要なのが「脳梗塞」と「熱中症」の症状が似ていて間違いやすいということです。**共通する症状としては「めまい」「ふらつき」「意識障害」などがあります。本当は脳梗塞を発症したのに、軽い熱中症だと思い込んでしまった結果、後遺症が残ってしまったというケースもあります。結果的に熱中症だとしても、脳梗塞ならではの症状があれば、すぐに救急車を呼ぶことが重要です。



脳梗塞ならではの症状



脳梗塞・熱中症予防の両方で気を付けること

こまめな水分補給

利尿作用が少ない
水分を少しずつ
摂ることがポイント



節度のある飲酒

飲みすぎは脱水を
引き起こします
アルコール以外の
水分も合わせてとるように



十分な睡眠

寝不足・体調不良
も脱水の原因に
なります



持病のコントロール

生活習慣病など
持病の管理が大切です
薬は切らさないように



適切な室温管理

エアコンを
使うことを習慣化
しましょう



適切な塩分補給

高血圧の人は
過剰摂取に注意
しましょう



少しでも脳梗塞の症状が気になったら救急車を呼びましょう!

一宮西病院 脳卒中センター TEL: 0586-48-0077

〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地